

行政評価シート(事後評価)

コード (64) 6-5-1	事務事業名 こどもの発達支援事業(ひいらぎ)	所管部課 子育て支援部子ども家庭支援センター(旧保健福祉部健康推進課)
-------------------	---------------------------	--

事務事業の概要	事務事業の目的	根拠法令等
	心身の発達遅滞やその疑いのある子どもに対して早期発見し、日常生活訓練や指導を通じた早期療育を行い、障害の軽減と心身の発達を援助する。また、保護者の相談に応じ適切な子育て支援を行う。更に保育園・幼稚園・母子保健事業等の関係機関との連携・支援を行う。	<input checked="" type="checkbox"/> 法律 <input checked="" type="checkbox"/> 条例・規則 <input type="checkbox"/> 政令・省令 <input type="checkbox"/> 要綱・要領
	事業内容・実施方法等 / 補助の概要: 補助団体の概要(団体名・団体の活動内容・補助金の活用内容等)、補助金の概要(国・都基準の有無・対象者拡大の有無・上乗せ補助額・市単独補助額)等	
	1. 通所事業:(1)障害者自立支援法による児童デイサービス事業 単独療育グループ/月~金開設(水曜日は年長児のみ)、1日利用定員25名・対象児の利用週1日~週5日、9:30~13:30 送迎有。2歳半から就学までの障害児及びその疑いの幼児。障害種別は問わない 課題学習グループ/水9:30~11:30(3歳児)13:30~15:30(4、5歳児)利用定員午前(単独療育グループ年長児と合わせて)10名、午後20名。各自利用は隔週月2回。保育園・幼稚園に通う障害児及びその疑いのある3歳児~5歳児への課題学習。(2)親子療育事業(東京都福祉改革推進事業補助)水曜日9:30~11:30概ね3歳以下の発達に遅れのある子とその親への集団及び個別支援。2. 相談事業(こたばからだの相談会事業・療育相談等)3. 外来事業(言語・身体訓練)	
事業開始時期	合併前から 年度	実施形態 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他 ()

項目	単位	16年度	17年度	18年度	19年度
事業費(A)		17,991	19,897	21,851	17,562
財源					
国庫支出金・都支出金		16,653	16,879	14,437	18,276
地方債					
内 其他 ()					
財源	千円				
一般財源		1,338	3,018	7,414	-714
児童デイサービス利用者負担金	千円	1,800	2,124	1,894	2,275
所要人員(B)	人	7.00	7.00	7.00	7.00
人件費(C)=平均給与×(B)	千円	58,296	57,295	57,127	57,127
臨時職員等賃金(C')	千円	13,557	14,077	14,883	17,012
総コスト(D)=(A)+(C)+(C')	千円	89,844	91,269	93,861	91,701
単位当たりコスト (E)=(D)/利用延べ人数	千円	16.4	15.8	15.2	#DIV/0!

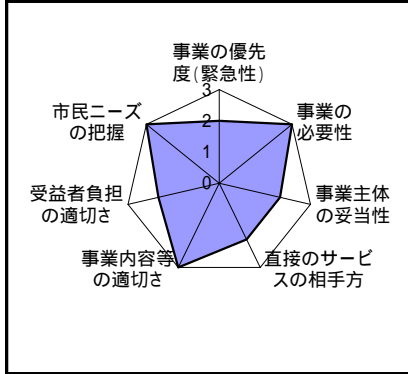
活動等指標	単位	16年度	17年度	18年度	19年度
開所日数	実績値 日	246	243	243	
	実績値				
地域の発達支援の場として母子保健事業と連動しながら、発達支援の必要な親子にタイムリーな支援を目指して事業を展開してきた。発達支援を必要な親子は増加しており、限られたひいらぎの中では支援の方法を常に模索し相談、外来、見学参加、待機児グループの創設等工夫により、一人でも多くの親子を何らかの形で支援している。					
成果指標	単位	16年度	17年度	18年度	19年度
一次 利用延べ人数	目標値 人			5,800	6,000
	実績値 人	5,487	5,786	6,186	
二次 満足度	目標値 点			90	90
	実績値 点	89	88	88	
通所グループ年度末利用者アンケートにより100点満点として点数をつけてもらった結果(小数点第1位四捨五入)。					

事業環境等	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	1. 単独療育グループ保護者の会「ちやれ/ちり」は議会陳情と共に併しこども総合支援センター建設に際して、ひいらぎの待機児解消等の拡充 学齢期支援の場の確保を要求している。2. 福祉サービス第三者評価H17,18実施: 良い点 母子保健事業との連携による療育システム 保護者に対する充実した支援 経験豊富な職員によるきめ細やかな療育の実施 更なる改善点 計画的な療育の実施と目標の達成状況を確認するための記録書類の整備・活用 事業所の改善課題、目標、指標の盛り込まれた年度計画づくり 保護者とのより積極的なコミュニケーションによる相互理解の深層
	都内26市のサービス水準との比較 (平均値、本市の順位など)	<input type="checkbox"/> 上 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 下 東京都の通所事業は、児童デイサービス、東京都心身障害児通所訓練事業、東京都肢体不自由児通所委託事業、児童福祉法による通園施設、すべて市単独事業というように、運営主体、指導形態、職員体制等もばらばらで一概に比較できない状況である。人口、規模、予算比較というように焦点を絞る必要がある。ひいらぎは限られた障害児の事業から発達支援を必要とする地域支援の視点からの事業展開としては先駆的であった。
	代替・類似サービスの有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 通所訓練施設「ひよっこ」。合併当初、ひいらぎは、母子保健事業の延長上の発達支援の場、ひよっこは統合保育の位置づけのまま現行移行になったが、部も課も違い窓口が別のため、弊害も出ていた。平成20年開設の(仮称)子どもの総合支援センターの事業の検討課題であり、地域の発達支援システムとして一元化が必要である。

コード (64) 6-5-1	事務事業名 こどもの発達支援事業(ひいらぎ)	所管部課 子育て支援部子ども家庭支援センター(旧保健福祉部健康推進課)
-------------------	---------------------------	--

【一次評価】

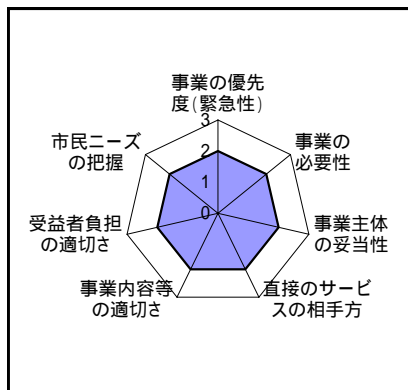
検証項目	ランク
事業の優先度(緊急性)	2
事業の必要性	3
事業主体の妥当性	2
直接のサービスの相手方	2
事業内容等の適切さ	3
受益者負担の適切さ	2
市民ニーズの把握	3



一次評価	判断理由及び事業を行う上での課題や、今後改善すべき点等
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>合併後の対象者の拡大にも拘らず、規模も変わらず移行されたため、待機児が年度末には30名と増え続けている。母子保健事業からの要支援児の増加、保育園・幼稚園における発達障害児の増加等、発達支援の場を必要とする親子は増え続けている。そのため、平成18年9月より待機児グループを開始したが、平成19年はさらに急速に待機児が増え続けている。早期に発達支援(親子共に)することで2次障害の予防や障害の軽減化は確実に図る事ができる。こども総合支援センターの開設にあわせて西東京市としての発達支援システムの構築が急がれる。今後、(仮称)子どもの総合支援センター開設に向けて、市の子育て支援施策の拠点施設として職員配置についても適正な配置の検討が必要である。</p>

【二次評価】

検証項目	ランク
事業の優先度(緊急性)	2
事業の必要性	2
事業主体の妥当性	2
直接のサービスの相手方	2
事業内容等の適切さ	2
受益者負担の適切さ	2
市民ニーズの把握	2



二次評価	判断理由及び事業を行う上での課題や、今後改善すべき点等
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>今回の組織改正により、母子保健事業や相談事業との連携がさらに密密になっており、(仮称)子どもの総合支援センターの開設にあわせ、西東京市としての発達支援のシステムについて検討すべきである。また現在、のどか事業や母子保健事業との整理統合や「ひよっこ」との事業の整合性についても検討を進める必要がある。</p>

【行革本部評価】

行革本部評価	判断理由及び事業を行う上での課題や、今後改善すべき点等
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>今後、(仮称)子どもの総合支援センターの開設に向けて、より効果的な支援事業として再構築された。再構築の検討に当たっては、類似事業である通所訓練施設「ひよっこ」との整合性を図り、発達支援事業の一元化に向けた検討を図りたい。</p>